槿室記 一

かけまくもあやにかしこき
皇大御國は異国々にまつりていとたけく
てあたらし国のこきしともも　おそれ
しことから國の世々の　等にも見へたり
また兵具も　国々にまさりてとく
ありけり世々を　古しへの
製法をとりうしなひあるは時にり
て便りよきに製あらためしも
後の世の人見たりに考へていひ出しことの
葉山　しけくてわけのほる道の

たつきもしれすわきまへかたきことそ
多かりけ　こゝに大野一貫のうし
古海の里の松の下弦なるもく
けのやにかりおしたまひてつれくの
をりけしに名におふ
みよくのふみともの中より松原の
考へ出て今の代につたへあや
まれるをあらためすたれたるをしらさむ
とてこれかれとりひろひあつめわき
からきおをしへたまはんとてかきつめたまひ

ける記はこの槿室記になもありける
かくをしくさとしいたまひでは
たとくしき
おほつかなくもあらす真證の鏡のあ
きらけくそありけるお思ふのにかり
　みたれりし世にしはり
よさに　心をつ　治まれまるめて
たき大御世にうまれ
のみにもあらすふりにし世々のもあるは
美也ひをこのめるもれおける事

なてとり出て古しへをも今をもしる
なりけるこのやすらけき大御世にうまれ
武士はかゝる事を能しかいにしへ
いまをもよくしりていやますくにやす
けき事をつとむる　御世の武士
の為なりける
此記のはしに一ことをかきつ
れてよとこひたまひけれはいなふのいなみ
一ことをかきつくるなも時これあり
享和のはしめのとしといふとしのみな月

なぬかの日かくいふは
つきぬきてまをす

槿室記凡例

一　凡此草稿ノ成レル始メ寛政十戊午年三月廿日ノ夜茶町トイヘルヨリ失火シテ南風ノ迅疾ナルニ任セ隣町ナレハ予カ草屋モ空ク焼亡ニオヨヒヌ故ニ古市村ノ傍尓槿室ナル別業ニ容舎セリ此地東南ニ扇个嶽三國个岳ナンド云ル巓嶺ヨリシテ遠近ノ山々幾重一眼ノ中ニ遮テ眠レルカ如ク哀也斜ニ見レハ菜園霞トヽモニ堺ナクテ拾モ海原ニ對レルカト覺束ナシ垣穂ニ茂レ

ル楊慮木ハ清ラケリ郭公待ケナリ西北ハ
古松連列シテ風ノ声イト淋シ予思ラク蒐
ル時ニヤ詩歌ナト好メル人ハ此事ニナシ
拵ヒムラン予勿論ノ無學文盲ナレハ是ス
ラニサエ疎ク徒ニ其情ヲツ井ヤス而已ナ
リシ又止ミナン事モ遺恨ナレハ幼童ヨリ
誰々ヘ聞ハツリ見ハツリシ武器ノ故實ノ
半端ナルヲ以テ参考保元物語ニ引合テソ
コハカトナク書綴リヌ素ヨリ搔ヒ遺リ捨
ル反古ナレハ或文字章句ノ顚倒錯簡或假

名ノ遺ヒ或前後ノ齟齬ナト識者ニ乞需テ校正セン事モ嗚呼カマシク片腹イタケレバ閑ラニ世ノ譏ヲモ厭ハズ放言ノ儘ニ捨置ヌ唯春色ノ風景ニ感シ徒然ノ情ニマカスル而已其詳ナラン事ハ能知レラン人ニ尋ヘキカ故ナリ又此書ヲ槿室記ト題号セルハ彼別業ニ於テ筆記ヲ始タル故ニ此名トス

一

凡本文上中下之三巻ニ各三巻宛倍益シテ上ニ上中下中ニ上中下下ニ上中下全部九

巻タリ然ニ第一之上巻焼失闕本セルニ仍テ第二之中巻ヨリ各條ヲ撰ヒ擧ケ本文ハ一字呈頭シテ予カ愚評次也タリ或本文ノ章句其義ノ聞ユル所迄ヲ抜粹シテ餘ハ畧也其取用サト所ヲハ省テ不勝之故ニ本文連續セズ難聞所モアリ又其抜出ベキ筒条ノナキ巻ヲハ撰ニ不及則二之下巻三之中巻ノ如キ是ナリ

一

凡引用スル所ハ國史實録野史雜書等ニ載タルヲ採摘シテ是ヲ本據トス但シ予蒙味

管見ナレハ未及見書記モ多カリ先哲ノ引用タル記録ニ出タル所ヲモ何ノ書ニ何ヲ引タル赴ヲ記シ其書名古器類ヲモ其出タルニ任セテ此引書目録ニ勝リ擧テ徴トスサレハ紛雑セル所モアレ氏不及正也又予カ見タリシ書ヲモ其所ニ因テハ他ノ引タルニ附シ置タル所モアリ或引書ニ草字假名書ナルヲ真字片假名ニ寫シ或假名書ナル所ヲ真字ニナヲセシ所モアリ又引用書目ノ次第舊新ヲ不撰其引用タル先後ニ順

テ記也或古画古圖及先師ノ説抔ヲモ併セ論セシ所モアリ又予愚案ヲ述タル所モアリ一笑スヘシ

一

凡撰用愚評シタル所ハ専ラ武器ノ外ニ不出但シ其所ニヨリテハ武器ニ比ヘ用シ物ヲモ合セ論セシ所モアリ又右本據トセル所ハ吾國ノ書籍ニ出タルヲ要トスセテ其所ニヨリテハ西土ノ書ノ出タル所モアリ彼是論辨スル所ハ實ニ九牛一毛ナルヘシ又便覧ノタメニ各條ヲ目録ニ作ス但ソ木

文ニ其同条ノ重出シタルモノハ其一ナルヲ擧テ記置ナリ

一　凡愚評セル所筆記ニオヨハン程ハ述也トイヘ氏或其事ノ不盡モノトス其人ナラスシテ會得難成モノトハ悉面授ニ讓テ此書ニ洩シヌ是邪秘畜秘ト云類ニハ非ス不徳止事カ故ナリ

寛政十一己未年嚴冬日　　因州　大野又兵衛一貫

槿室記凡例終

槿室記引用書目

裝束圖式
參考太平記
本朝世諺俗談
異本保元物語
安齊隨筆
衣服令
延喜式
飾抄
西宮抄

武家装束抄
参考宇治物語
源平盛衰記
平家物語
東鑑
羕久記
明徳己
宇治拾遺物語
今昔物語
十訓抄

義經記
後三年合戦画
十界画
續世續物語
矢羽文考
倭名類聚抄
唐韻
山海經
羽揃之巻
逸見弓書

三議一統
日本書紀
三代一覧
古今著聞集
毛詩注
漢語抄
武器普録
銘鑑
一谷合戦画
平義器談

夫木抄

温古甍彙

庭訓往來

海人藻芥

楯無鎧之圖　甲州菅原天神社蔵

古鎧之圖　藝州嚴嶋社蔵

源義家朝臣鎧之圖　同社蔵

源義光朝臣胴丸之圖　同社蔵

平重盛朝臣鎧之圖　同社蔵

大内義隆鎧之圖　同社蔵

軍防令
續日本紀
小笠原大双紙
岡本紀
軍器考圖式
平城東大寺八幡宮藏丸木弓
諸鞍日紀
八領鎧
帯甲通
梅松論

参河後風土記
中右記
世俗淺深抄
禁秘抄
桃萃藥葉
神皇正統記
萬葉集
兵庫鎖長覆輪太刀　相州鎌倉鶴ケ岡八幡宮藏
兵庫鎖長覆輪太刀　尾州藝田社藏
後三年記

江家次第
今鏡
布衣記
高忠聞書
軍器考補註
宇槐記
次將裝束抄
建武二年記
管見記

吉部秘訓抄
高忠聞書別記
公事根元
小笠原長秀記
三代實録
西三條装束抄
釋名
異本軍器考圖式
武林原始
神祇靈應記

畠山重忠鎧之圖 武州御嶽社藏
佐々木盛綱鎧之圖 備州上寺藏
義貞記
勧修寺御家蔵太刀之圖
鎧問答
源氏物語
清少納言枕草子
園大暦
爾雅
北越軍記

劒刀分説
武用辨畧
義家朝臣糸巻太刀之圖　河内國壺井八幡宮藏
後漢書
魏志
美人草
射御
雅亮装束抄
武器普録口傳誌
説文

倭玉篇
榮花物語
羽形之圖
保呂衣推考
小笠原持長記
扶桑畧記
豊臣記
今川大草子
信長記
碎玉話

愚得随筆
矢本秘傳
冬草
小笠原傳書
營繕令
武田三代軍記
難太平記
武藝小傳
三河物語
陸奥話記

應仁記
天草軍記
曽我物語
宗長記
竹馬記
弓馬故實
單騎要畧被甲辨
新撰類聚往來
玉篇
犬追物圖説

物類稱呼
東雅
武具訓蒙圖彙
辨色立成
令義解
倭漢三才圖會
軍器考標疑
曽我五郎時宗腰刀　河内國壺井八幡宮藏
伴大納言流罪画
増鏡

三國通覽
舊制射器聚類
平城東大寺藏靫
熱田社藏箙
南都東大寺藏箙
伊勢家箙之圖
胡曹抄
禮月抄
武雜記
古事記

源義貞朝臣長刀

越前國西福寺什物

通計百六十　部

槿室記總目

巻第一

○白青の狩衣
○浅黄絲鎧
○上オリシタル烏帽子
○白星ノ兜ヲ著
○切符ノ矢
○二所藤ノ弓持
○黒馬ニ黒鞍置テ
○直兜

○褐直垂
○藍白地ヲ黄ニ返シタル鎧
○黒羽ノ矢
○塗籠籐ノ弓
○黄河原毛ナル馬
○貝鞍置テ
○白襖狩衣
○黒糸威鎧
○褐直衣
○褐目結カ遠目定不見分黒ハミタル直垂

○小櫻黄ニ返タル鎧
○黒羽ノ征矢
○節巻弓ノ拳太

巻第二

○白覆輪ノ鞍置
○月數
○源太産衣
○八龍
○澤瀉

○薄金
○楯無
○膝丸
○鵜丸
○御ハカセ
○長覆輪太刀
○御著脊
○水干袴ニ腹巻ヲ著
○白綿ノ狩衣
○絲火威

○狩衣袴ノ上ニ腹巻著
○八龍ト云鎧ヲ似セテ白唐綾ヲ以テ威タル
○大荒目鎧
○同獅子金物折タル
○三尺五寸太刀ニ熊皮ノ尻鞘入
○五人張ノ弓
○長サ七尺五寸
○ツク打タル
○三十六差タル黒羽矢
○長緒直垂

○十五束
○十八束
○弓ハ八尺五寸
○張時ハ三人ニタヲメサセテ
○矢ハ三年竹ノ極テ節近ニ金色ナル
○羽ハ鷲梟鶏ノ羽ヲ嫌ハス
○筈マラヘスシテ破碎ケル間角續テ朱ヲ指
○矢ノ根
○楯破
○蠅尾

○鳥舌
○上矢ノ鏑
○大雁股
○白箆
○山鳥羽
○鸛霜降
○本四立
○獅子丸裙金物白覆輪
○練鐔
○黒塗太刀

○三尺八寸
○三尺六七寸

巻第三

○下釘ヲモ外スト云事ナシ
○指矢三町遠矢八町
○赤地錦直垂
○折烏帽子引立
○脇立計ニ太刀帯タリ
○袖少ナル浄衣
○小狐ト云モク鞘ノ太刀

○赤地錦鎧直垂
○脇立小具足
○鑄懸地ノ金覆輪鞍
○日出紅扇
○半頬
○緝村
○二十
○重藤
○月毛
○鏡鞍

○内兜
○練鐔ノ太刀モヽヨセ
○三年竹ノ節近
○箆中過テ箆代
○サキ細中差
○萌黄匂鎧
○三枚兜
○染羽
○三所籐弓

○鹿毛
○革能鎧
○澤瀉威
○二十四差タル中黒矢
○鎧ヲ重テ著
○逆澤瀉威
○蝶丸袖金物
○白覆輪
○紅縄マツフクラニカケ
○鐵楯

巻第四

○黒革威鎧
○同毛五枚兜
○猪頸ニ著
○十八差タル染羽矢
○黒ホロノ矢
○引儲テゾ云ラン
○白地錦直垂
○唐綾威鎧
○籐ノ皮ニテ矯タル矢

○八尺五寸
○白蘆毛
○金覆輪鞍
○弦音高ク切テ發
○鞍前輪尻輪
○鞍ノ前輪ハタト射破テ草摺ノタヽナハリ
タルヲ射徹シ
○此鎧三代
○鎧ノ札ヲモタメシ
○相引

○半頭
○兜ヲ脱高紉ニカケ
○遠矢
○打物遣フ事
○妻手ノ草摺
○楯
○征矢
○龍頭
○鞍ノ前ツハ
○馬ノユカミ

○真向
○障子板
○梅檀
○弦走
○胸板
○草摺ナラハ一ノ板氏二ノ板トモ
○クツケイ
○目九指ッ
○メハシラ
○風返

○金巻ニ朱差
○普通ノ蟇目程
○手先六寸鎬ヲ立前一寸ニハ峯ニモ刄ヲソ
附タリ
巻第五
○鎧ノミツヲカ子
○尖矢
○蟇目ニテ射バヤ
○征矢ヲモ能羽ニテハ矯ザリケリ
○野矢ハ晴ノアラバコソ

○鶏ノ羽モ鳶ノ羽モ矯附〳〵ハキケル
○野矢
○鶴ノ下目
○鏑ハ朴ノ生木
○人ノ蟇目ト云ヨリモ
○小キ手鋒ヲ二ッ打違ヘタル様ナリ
○刀革ミツヲ皮
○二領鎧重著テ
○高角
○糟毛

○滋目結ノ直垂
○裙縄目鎧
○木蘭地直垂
○紫革腹巻
○栗毛
○弓ヲハ肩ニカケ
○兜ノテヘンニ手ヲ入
○刀
○トヽメヲ差
○具足ノ草摺

○大鏑
○高紉ニ弦ヤセカレケン
○藍摺直垂
○卯花威
○星白兜
○佐目馬
○張絹ノ直垂
○薄金ト云緋威鎧
○鍬形
○連銭葦毛

○蟇目ノ音
○箙矢数
○赤革威
○緋威
○洗革
○敷皮
○長刀

凡五巻百八十八條

槿室記總目終

槿室記　参考保元物語武器談

官軍方々手分事　一中之巻

基盛宇治路へ向フニ白青ノ狩衣ニ淺黄絲ノ鎧ニ上オリシタル烏帽子ノ上ニ白星ノ兜ヲ著切符ノ矢ニ二所籐ノ弓持黒馬ニ黒鞍置テソ乘タリケル　一貫云安藝判官基盛ナリ清盛ノ次男

○白青ノ狩衣

一貫曰本文白青ノ狩衣不詳淺縹色氏ニテハ有ザラン歟　裝束圖式ニ深縹八位着之帛一疋ニ藍十圍薪百廿斤淺縹初位着之帛一疋ニ藍十圍薪三十斤トアリ是今俗云所ノ淺黄ナリ又淺縹ヲハナイロ

ト云フ是ハナダイロノ下畧ナリ参考太平記ニ義詮将軍御
會ニ参上ノ篇ニ右ハ摂津掃部頭能直薄色
ノ指貫白青(アサキ)織物ノ狩衣著テ沓ノ役ニ候ス
トアリテ白青ニアサギト假名ヲ付タリ又
本朝世諺俗談五色五行相生相克ノ篇ニ白
青マシハリテ碧(ルリ)トナル金克木ナリトアリ
イカヾ但シ本文此条京師本杉原本鎌倉本
竝云ニハ白襖ノ狩衣ニ作ル又新院左府御
没落ノ条半井本ニ左大臣ノ著シ給フ所ヲ
白襖ノ狩衣ニ作リタルヲ本文ニハ又白青

ノ狩衣ニ作ルナレハ異本ニハ悉ク白襖ニ
作レルヲ本文獨白青ニ作タリ是文例ト云
ヘトニヤ元來白襖ナル物ヲ白青ト誤タラ
ニモ不可知参考太平記ニモ中原章信白襖
ニ著籠ニ帯劔シテト見ユ又安齊随筆伊勢貞丈先生著述テ襖ハ衣服令延廷喜式ヲ考ルニ衛府ノ
官人ノ著スル闕腋ノ袍也裁縫其衿ヲクビ
カミニシテ狩衣ニ似タリサレバ狩衣ノ本
名ヲバ狩襖ト云也鷹ヲツカフニハ袖口ノ
括リヲシメテ手ヲツカフニ便ヨカランガ

爲ナルヘシト記サレシナレバ此文章ヲ以テ考フレハ何ノ子細モナク基盛白狩衣ヲ着シタルニテハ有サラン欤猶能知ラン人ニ尋ヘシ予短學管見ナレハ孰カ是ナル事ヲ知ス

○淺黄絲鎧

一貫曰此淺黄糸ノ鎧ハ淺黄糸威也但シ今俗ニ淺黄トイフ色ニハ有サルベシ今當ノ淺黄ハ淺縹也（裝束圖式既前ニ引タル如シ）飾抄久安六十廿三新大納言傳法皇詔曰重仁親王元服夜

袍色如何其意趣宜裁狀奏聞者報狀曰無品
親王黄衣之由見西宮抄臨時部又縫殿寮式有
所見淺黄即薄黄由也可用薄黄色案先年六條宮元
服之時袍色有御沙汰薄女郎花色也有黄気
者ト記アリ又武家装束抄ニ淺黄ハ黄ノウ
スキナリ縫殿式ニ淺黄絹一足刈安草大三
斤八両灰一斗貳舛薪卌斤トアリ今云アサ
ギニアラザルト知ヘシ又今淺縹ヲ淺黄ト
イフハ非ナリト記セリ又装束圖式ニ淺黄
紋ハ葵染之綾一足ニ苅安草大三斤灰一斗

二舛薪三十斤也或黄衣氏称ス薄浅黄緑色ナト云モ皆此事也又安齊随筆ニ淺黄色ハ今云ウスガキ也トアリ彼是ヲ考ルニ今ノ淺黄ト云物ハ浅縹ニテ黄色ノ薄キモノムカシノ浅黄也右飾抄ニ見ヘシ久安六年十月サ三日ノ記證トスヘシ久安六年ヨリ保元々年迨ソヅカ七年ノ春秋セリ

○上オリシタル烏帽子

一貫曰古代ハ著甲スルニモ近世ノ如クナラズ或直垂狩衣淨衣而衣大口小袴四幅袴

抔ニ鎧ヲ著シ烏帽子ヲ被リ或其上ニ兜ヲ戴キタル也事跡ハ右軍記古物語等ニ所見少シナラス（参考保元平治物語源平盛衰記平家物語東鑑羨久記参考太平記明徳記ナト合セ見ルヘシ）是古代ハ禮服ヲ専ラトセシカ故ナラシ欤既ニ源平盛衰記浜住寺合戦ノ篇ニ刑部卿三位頼資ノイフ人木曽カ軍兵ノ爲ニ表下（ウヘシタ）剥取テ命バカリハ助カリ給ヒヌ烏帽子サヘ落失ニケレハスベキ方ナクシテ左ノ手ヲ以テ前ヲ拘ヘ右ノ手ヲ以テ髻ヲトラヘ裸ニテ野中ノ卒都婆ノ様ニ

テ立給ヘリ又如無僧都烏帽子ノ篇ニ定國
烏帽子ヲ河ヘ吹入ラレテスベキ様ナカリ
ケレハ袖ニテ髻ヲカヽヘテオハシケル處
ニ如無僧都ト申人御幸ニ被召具タリケル
ガ香爐箱ヨリ烏帽子ヲ取出シテ奉タリケ
ルコソ人々目ヲ驚カシタル高名ニテハ有
ケレトアリ此髻ノ顕ルヽ事ヲ耻トシタル
趣ニテ禮容ノ時変アル事ヲ可考又昔ハア
ラヌ卑賤ノ者迄モ烏帽子ヲカフヾリタル
事宇治拾遺物語ナトニモ見ヘタリ是等ノ

趣今ヲ以テ云ヘカラズ右兜下ニ被リタル烏帽子ト云ハ萎烏帽子。梨打烏帽子。引立烏帽子。折烏帽子抔一種類ナリ萎烏帽子梨打烏帽子ハ共ニヤワラカニナヤシウチテ制スル所ノ号ナルヘシ折烏帽子ハ如右ヤワラカナル故ニ折附テ着スルノ名ナルヘシ引立烏帽子トハ此折附タルヲ引立ル故ノ名ナルヘシ此烏帽子ノヤワラカナル事ヲ云ニ今昔物語ニ此女重方ガモトヾリヲ烏帽子コシニヒタト取ニコブシヲモツテ頬

ノアタリヲ山モヒヾクホトハタトウツ又
重方オメくトシテ烏帽子ノシボシタルヲ
引ナヲシテ又頼光ノ郎等貞道季武公時加
茂祭見物ノ帰リニ皆草鞋ヲハキテ烏帽子
ヲ鼻ノモトマテ引イレ扇ヲモツテ顔ヲカ
クシテ又十訓抄ニ年タカキ人アリ直衣ニ
ウスイロノ指貫紅ノ下袴ヲキテナヘタル
烏帽子ヲシテヱボシ尻イト高クテ常ノ人
ニ以サリケリ抔トアリ是等其證氏スヘケ
ン欤又此烏帽子ヲ戦ニ臨ンテ著セシハ此

本文官軍勢汰ノ条ニ赤地錦ノ直垂ニ折烏帽子引立テ脇立計ニ太刀帯タリ（義朝ナリ）同ク半井本ニ赤地錦鎧直垂ニ脇楯小具足計テ太刀ヲ帯烏帽子引立庭止ニ跪ク（義朝ナリ）参考平治物語待賢門軍ノ条ニ紺ノ直垂ニ黒絲威ノ腹巻ニ左右ノ小手ヲ差テ（中署）折烏帽子引立テ（清盛ナリ）平家物語生捕重衡津入篇ニ三位ノ中将ハコムラコノヒタヽレニオリヱボシヒキタテヽ（重衡ナリ）源平盛衰記額打論ノ条ニ若狭守経盛ノ朝臣ハ折烏帽子ニ冑

ヲ著ス石橋合戦ノ条ニ青地錦ノ直垂ニ赤威ノ肩白ノ冑ノスソ金物折タルヲ著テ妻黒ノ箭負長覆輪ノ劔ヲ帯ケリ折烏帽子ヲ引立テ真田與市ナリ衣笠合戦ノ条ニイテノ義明カケ出テ最後ノ軍シテ見セ奉ラントテ白キ直垂ノ袖セハキニ萎烏帽子ヲ引立テ三浦大介ナリ與一射扇篇ニ與一誠ニト思セ甲ヲハ脱童ニ持セ揉烏帽子引立テ薄紅梅ノ鉢巻シテ那須ナリ遠矢ノ篇ニ魚綾ノ直垂ニ折烏帽子ヲ引立テ浅利余市ナリ義經記ヨシツ子都落ノ条

ニモミヱボシ引コウテ（辨慶ナリ）タヾノブサイ
コノ条ニヱボシヒキタテオシモウデホン
ノクボニヒキイレテ（忠信ナリ）抔トアリ其外所
々ニ見ユ又後三年合戦画抜寫ヲ見ニ數多
アリ（飛騨守惟久ガ筆也實朝将軍ノ時ノ人ト伊勢氏ノ説ナリ）又此烏帽
子兜下而已被ルニモ非（アラ）ス十界画寫（巨勢金岡筆ト）
ヲ見ニ烏帽子ノ上ニ綾藺笠ヲ被リタル（アリ）
者数多見ヘタリ彼是ニテ其證ヲ可考此烏
帽子折形并傳記二巻子哲子ヨリ請シ赴又
予ガ新古制作等愚意ノ事モアレ氏爰ニ洩

シヌ是又古今時変ヲ可察又伊勢氏説ニ冑ノ下ニカフルモミヱボシハ即古代ノ風也烏帽子ヲカククコハク塗装束ノ衣文ナト云支ハ鳥羽院并花園左大臣有仁公ヨリ始也續世續物語ニ見タリト記タリ猶尋ヘシ

○白星ノ兜ヲ著

一貫曰此冑ノ星トイフ物ハモト鉢鉄ヲカラクリタル矯合セノ鋲頭也大星。小星。坐星。イラ星。ヌカ星。乱散星。妙見星。白星。疣。刻ナド皆此鋲ノ頭ノ形ニ順テ呼名ナリ白星ハ是ヲ

銀ニシタル也故ニ白星ト云銀作ノ太刀ヲシロカ子ツクリト云ニ同シ此制作ニ精粗ノ三品アリテ南都亟工岩井可光へ習シ赴モアレ氏爰ニ不贅（白星ハ大ヨリ中迄ノ星ニ制スト可光ハ云ケリ）

○白星兜古軍記古画ニ所見多シ或後三年合戦画ヲ見タルニ金銀打マシヱナラント思ハル星兜アリ異品アル事ヲ知ヌヘシ

○切符ノ矢

一貫曰矢羽文考（伊勢家ノ書也）ヲ見ニ和名抄ニ鵰鷲ノ二字ヲ出シテ唐韻ヲ引テ鶚鶻大鵰也

鵂（音同和名於保ハ和之鷲古初之）鶚鳥別名也山海經ヲ引テ鷲（音就小鵂也）ト見ヘタリ鵂ハ於保和之ト訓ム今世オヲトリト云是ナリ切符（キリフ）トハ白ト黒ト散亂混雜セズシテ黒白ノ堺明カニ切レ分レタルヲ云也是亦一定ノ形ナシト記レタリ（文字モ或生ノ字或府ノ字符ノ字ヲ用ルハ誤也文ノ字正字也餝抄ニ文ノ字ヲ用又キリフヲ古書ニハキリウ氏書タリフノ字ヲウト唱フヘシ是古義ナリト同書ニ記レタリキリウ平家物語義經記ナドニ見ユ）又羽揃之巻（小笠原刑部撰）

ヤナギチノキリウ（羽先黒真中黒本之ト奥書アリ）黒キツハリト分レタリ

シウノキヒウ（羽先分明ニ黒ク其外ハカスリナリ）八文

字シフキリウ八文字形ニテ明白ニ三所黒シ　スリキリウ
黒五ツ白六ツ分明ニ分レタリ又俗ニ嶋切生ト云欤　アマチノキリウ
羽先黒羽中圓文二ツ羽本逆八文字ナリ　ムメチノキリウ羽先黒羽
中圓文梅花ノ如ク羽本逆八文字ナリ　抔ト云物見ヘテ異類少シカラズ但シ尋常切文ト云ハ鷹ノセリフトイフモノヽ如ク一段くニ切分レタルヲ云是安ラカナルヘケン歟猶尋ヘシ

○二所籐ノ弓持

一貫曰是ハ二所宛重子テ籐ヲ巻タル故ノ名ニテハ有サラン欤逸見弓書ヲ見ルニハ

張弓ノ第六陰陽弓ヲ二所籐氏云トアリ又
此八張弓ト云物古ク聞ヘサレ氏三議一統
小笠原長秀ノ書也首實検ノ条ニ弓ハ太平弓ニ拵フ
ベシト見ヘタレハ足利家ノ頃ヨリ行レシ
可成又今ヲ去事ヤヽヒサシ

○黒馬ニ黒鞍置テ

一貫曰黒馬ハ驪ニテ真黒毛ナラン欤日本
書紀雄畧紀ニ復作歌曰農播拕磨能柯彼能
矩盧古磨矩羅积制橎伊能致志儺磨志柯彼
能倶盧古磨ト見ヘタリ又王代一覧推古天

皇ノ条ニ太子ハ斑鳩宮ニ居テ甲斐驪駒ニノリテ毎日天皇ヘ出仕ス宇治拾遺ニ厩ニクロ馬ノ額少白キヲ古今著聞集ニ殿下クロキ馬ニウツシオキタルニ奉リテ平家物語ニカチ原カ給ツタリケル御馬モキハメテフトウタクマシキガマコトニクロカリケレハスルスミトハ付ラレタリ盛衰記ニ畠山カ大黒ナトヽアリ是ナルベシ倭名類聚抄毛詩注云驪（驪音漢語抄云驪馬黒毛馬也）純黒馬也ト見ヘシハ真黒ニハ有サラン歟又黒鞍ハ異

ル事有サルヘシ黒漆ノ鞍ナラン諸記ニ所見多シ

法性寺一ノ橋ノ邊ニテ馬上十騎許直兜ニテ物見シタル兵（岡崎本有ニ十餘人字）上下二（岡崎本作云）十餘人地都へ打テソ上リケル（一貫云宇野七郎親治カ兵也）

○直兜

一貫曰此直兜ト云事或ハ字義ノ因テ繹タリナントシテ紛然タリ武器普録ニ戦ニ臨時ノ備列色々ノ物具混　着シタル軍勢ノ行荘ヲ美賞シテ云事也直冑ト云物別ニ設

ルニハ有ヘカラス此故ニ混ノ字ヲ書テ。ヒタ胄ト謂來レルモノ也ト記シ有レ氏イカヾ有ベキ難取説ナラン歟宇治拾遺物語ニ見ルニ今ハムカシ村上ノ御時署ソノ日ニナリテ堀川中将殿ノアヲツ子ノ君ノアカヒスヘシトテマイカヌ人ナシ殿上人イナラヒテ待ホドニ堀河中将直衣スガタニテカタチハ。ヒカルヤウナル人ノ香ハヱモイハズ。カウバシクアイキヤウコボレニコボレテマイリ給ヘリ直衣ノナカヤカニメデ

タキスリヨリ青キ打タルイダシ柏(アカメ)シテサシムキモ青(アサ)イロノサシムキヲ。キタリ随身三人ニ青キ狩衣ハカマキセテ。ヒトリニハ。アヲクイロトリタルオシキニアヲチノサヲニコクバヲモリテサヽゲタリ。イマ一人ハ竹ノ枝ニ山鳩ヲ四五ハカリツケテモタセタリ又ヒトリニハ。アヲチノカメニ酒ヲ入テ青キウスヤウニテ。クチヲツヽミタリ殿上ノ前ニモチツヾキテ出タレハ殿上人ドモ見テモロコヱニワラヒ。トヨムコトオ

ビタヽシ　イカヤウニアカフゾトテヒノオマシニイデサセ給テコシトミヨリノゾカセ給ケレハ我ヨリハジメテヒタ青ナル装束ニテアヲキクヒ物トモヲモタセテ。アカヒケレハコレヲ笑ナリケリト御覧(ラン)シテヱ腹タヽセ給ハテイミジウワラハセ給ケリト見ヘタリ或参考太平記ニヒタ引ニ引ケル。シタ破ニ攻入テヒタヒシメキニヒシメク抔ト見ユ又銘鑑ニ皆焼ヲヒタツラト讀セタリ又俗ニ同シ詞ヲクリ返シテ云事

ヲヒタスラ言ヲイフ抔イヘリ彼是ヲ愚案ニニ。ヒタカブトヽハ兵士一様ニ兜ヲ被リタル事ヲ称スルドモニテハ有サラン欤軍トサヘイフ時ハ軍勢何千何万モ一同ニ冑ヲ着スルモノナリト思ハ今日ノ了簡ナルヘシ古軍記古物語古画ヲ熟覧スヘシ分明ナラン後三年合戦画（抜寫也筆者前ニ記ス）一谷合戦画（土佐光信筆後花園帝ノ時也ト云フ欤）ヲ見ルニ或ハ兜笠。烏帽子。鉢巻或ハ帛ヲ以テ頭ヲ包抔セシ者氏アリ或頬當。頭巾モアリ或素面ノ者モ多シ

小具足計着セシモアリサラニ一様ノ事ハナキナリサレハ彼是ニ對テ兵士何十騎ニテモ無残一統ニ兜ヲ着シタル軍勢ヲヒタカブト何十騎ト呼ヘルニテハ有サラン欤直兜混冑。抔ト書シ直混ノ字ハ悉ク假字可成仍テ字義ニ拘テハ濟ベカラズ右宇治拾遺抔思惟シテ能知ラン人ニ尋ヌベシ

大将ト思敷者褐ノ直垂ニ藍白地ヲ黄ニ返シタル鎧著テ黒羽矢負塗籠籐ノ弓ヲ持黄河原毛ナル馬ニ貝鞍置テ乗タリケル（一貫云宇野七郎源親治）

リナ

○褐直垂

一貫曰平義器談ニカチトハカチ色トモ云藍ヲ濃ク染テ黒クナリタル色ヲ云也イニシヱ播广國餝磨ビ里ニテ布ヲカチ色ニ染テ賣シ也是ヲシカマノカチト云也夫木抄ノ歌ニ信實朝臣播磨ナルシカマニツクルア井ハタケイツアナガチノコゾメヲカ見ン又同抄ニ中務（なかつかさ）ノミコ。シカマナル市女カモテルカチムノヽ色フカタノミ人ヲコヒ

ツヽ又カチ色ヲ勝(カチ)ノ言葉ニトリナシテ軍陣ニ用ヒテ祝トスル事アリ。カツ色トモニト記アリサレバ此染色ナル物ヲ直垂ニ作シテ着セシナラン又此色絇染トイヘロモノトハ異ナラン欤右信實ノ詠ニ何強(イツアナガチ)ノ濃(コ)染トアルニテモ又盛衰記ニ明春今日ハ事ヲ好テゾ装束シタル。シカマノ褐ノ冑直垂ニ絇ノ頭巾ニトアリカチ色トコン色ト分テルニテモ知ラレタルナラン欤此物古軍記古物語ニ所見少シナラス猶餝磨ノ褐ノ

事下文ニ出ス互見スベシ

○藍白地ヲ黄ニ返シタル鎧

一貫曰此威ハ革オドシ可成凡テ白革ニ史ヲ顕ス事種々様々古今ノ制繁多ナラン諸ノ革文温古甍彙ニ委ク見ヘタリ又今モ南都亟人岩井可光ガ家ニテ制作セリ予モ獅子文ノ繪革ナル物ヲ制セシメタリシニ其制全ク拙カラス仍テ彼カ家ニテ制作スル所抔モ乞請テ聞事ヲ得タリキ藍白地トハ白革ニ藍ニテ文ヲ染シモノ也故ニ地ノ色ハ白ク文ノ色ハ青クナル也是ヲ藍白地革ト云是ヲ又黄ノ色ニ染ル時ハ地ノ色ハ黄ニナリテ文ノ色

ハ萌黄色トナル也則藍白地ヲ黄ニ返シタル革是ナリ此革ヲ裁切テ威セシ物可成但シ此所其革文ノ模様ヲ出サヾレバ其文ハ何氏難知トイヘ氏本文此条異本ノ文章ニ小櫻ヲ黄ニ返シタル鎧ヲ著トアレバ爰ニ藍白地ヲトアルハ白地藍文ノ小櫻革ナルヘシ然ヲ此所ニハ其文形ヲハ不言シテ藍白地ヲ黄ニ返シタルト而已書シナラン欤此例何程モアリ異本保元物語東鑑盛衰記義經記平家物語抔ニ小櫻革威小櫻威櫻威

小櫻ヲ黄ニ返シタル抔トアルモ其文形ハ分明ヲレ氏白地ニ藍文ナルヤ藍地白文ナルヤ是ヲ記サヾレハ不相分タヾニ見ト著明シキ所ヲ云シナリサレハ本文藍白地ト書テ其文形ヲハ不記赴ヲ可考又温古甍彙ニ藍細紋黄地韋ノ条ニ此韋古キ物ヲ見シニ其文花菱ト云ルモノヽ如シ昔ハカヽル物モ世ニ多カルニソ保元物語ニ藍白地ヲ黄ニ返シタルト云ルハ其文ノ名ツクヘカラザル物ニソアルヘキト記セリ

地草ヲ黄ニ返シタルト云ルヲ温古甍彙ニ其文ノ名ツクヘカラサル物ニソト記セシハ異本ノ保元物語ニ見ヘタル文章ヲハ不取シテ評シタルナリ異本ヲ以テ考フレハ小櫻ノ文ナル物ト思ハル猶尋ヘシ

勿論藍白地ノ文革小櫻ノミニモ不可限猶異文多カラン但シ此所ニ見ヘシハ小櫻ノ文ナルヘシ委ハ予カ威毛考ニ記ス

○黒羽ノ矢

一貫曰是ハワシノ風切カ保呂ヲ以テ矯タリシナラン欤此羽鵰（オトリ）ニモ鷲（コトリ）ニモ甚多シ盛衰記ニ頼政ノ水破ト云矢ハ黒鷲ノ羽ヲ以

テトアルモ義經記ニ黒ツ羽。クロ羽ノドイヘルモ皆是ナラン欤其外軍記等ニ所見アリ

○塗籠籐ノ弓

一貫曰此物ハ籐ノ巻様ハ何重籐ト云モノニモシテ漆ヲ以テ里クモ朱ニモ青クモ溜ニモ巻タリシ籐ノ上ヲ塗ルナリ籐ヲ塗込ル故ニ塗籠籐ト云何モ子細ノナキ事ナリ是雨露炎天ニ籐ヲ損セサル様ニ設ルナリト山孤先生（吾弓術ノ師範大口氏子積也）ハ教ヘラレシ又

巻籐ノ表ウィ不塗弓ニ對シテノ号也ト聞ヘタリ此物諸軍記ニ所見多シ猶知ラシ人ニ尋ヘシ

○黄河原毛ナル馬

一貫曰倭名類聚抄ニ毛詩注云駱音落漢語抄云駱馬川原毛也沙駱馬黒川原毛也白馬黒髦ノ馬也ト有テ黒川原毛ノ一物ヲ出シタレハ此餘異毛ノ河原毛モ有ン事シカゾアルヘシ盛衰記ニ和田義盛カ鴨ノ上毛白浪ト見ヘシ馬ハ今云鴨瓦毛ナトニテハ有サラン欤又予カ懇友カ

家ニ建部政方金瓦毛ト云シ馬ヲ持タリシ事有キ是ハ惣身黄黒ニシテ光彩アリ尾髪四足氏ニ黒シ思フニ此物黄河原毛ナルヘケンナレト其光彩アルニ任セテ金河原毛抔ト俗称スルモノ可成平家物語ニ熊谷カ旗サシノ乗シ所黄河原毛又盛衰記ニ黄駱馬アリ但馬守經正所乗也是ニキクロキタテガミノ馬ト假名付シタレ氏黄河原毛ナラン欤又浅利與市カ乗シモ黄河原毛ト見ヘシ惣テ瓦毛而已異ナルニ非ス鹿毛栗毛葦毛糟毛鶏毛

ナトリハシメ色々様々ニ変毛アリテ其名
附所繁多ナラン猶知ラン人ニ可尋

○貝鞍置テ

一貫曰貝鞍ハ青貝ト俗ニ云ル物ヲ以テ文
飾ヲナセシ鞍ナルヘシ餝抄和鞍ノ条ニ縁
螺鈿鞍又大治三四十四ノ条ニ黒地螺鈿鞍
又移鞍ノ条ニ近衛次将乗用平文杉（或摺レ貝入レ玉或入レ銀或押ニ薄文一）抔ト見ヘタル貝ヲ摺ルトアル是ナ
ラン欤参考平治物語ニ柳櫻摺タル貝鞍置
セテ盛衰記ニモ螺鈿ノ鞍アリ庭訓往來ニ

金福輪螺鞍見ヘタリ今當モ青貝ヲ以テ種々ノ繪様ヲ作シタル鞍尤世ニ多シ其外器物ノ飾ニツカヒタル又多シ

京師本杉原本鎌倉本竝云基盛其日ハ一斤染ノ絹ニ京師本杉原本不レ載ニ一斤染絹一白襖ノ狩衣黒糸威鎧ヲ著黒馬ニ黒鞍置テ乘弓取直シ歩セ進テ

○一斤染ノ絹

一貫曰一斤染ノ絹ハ餝抄ニ仁安三十一廿一皇太后宮淵醉大相國不令出衣給著白織物衣給右大臣出衣大宮大夫公保花山中納言兼雅己上束帯

別當時忠著一斤染平絹云云ト見ヘタリ此平絹ト
アルモノ武家装束抄ニ平絹トハ今云羽二
重ノ類スベテ文ナキ帛ヲ云ト見ヘタリ又
海人藻芥ニ平絹アリ下文長絹直垂ヲ評ス
ル条ニ出ス互見スヘシ本文一斤染ノ絹ト
アル所ヲ可考サレハ基盛平絹ノ下著ヲ用
シニテハ有サラン欤其爲染所ハイカニヤ
猶能知ラン人ニ可尋右餝抄ニ仁安三年十一月廿一日トアル仁安三迄ハ保元々年ヨリ十三年計後ナリ

○白襖狩衣

一貫曰前ニ愚評セリ爰ニ洩ス

黒糸威鎧

一貫曰是ハ普ク知レタル通ナラン愚評ニ不及或ハ革威黒革威ト云物アリ糸ニモ黒糸威ノ有事異成事ナシ黒革威下ニ愚評セリ

○黒馬○黒鞍

一貫曰是等既ニ前ニ愚評セリ

其時主人ト覺シキ者京師本杉原本云男云々眼サシ頬魂誠ニニクゲナルガ馬居事柄アルベカシゲ

ナルガ一騎進出タリ褐直衣（鎌倉本云褐カ目結カ遠目ニハサタカニ見ヘ分ス黒ハミタル直垂ニ小櫻ヲ云々）小櫻ヲ黄ニ返シタル鎧ヲ著黒羽ノ征矢ニ節巻ノ弓ノ拳太（ニギリフト）ナルヲ持黄河原毛ノ馬（京師本杉原本云太ク逞シニキニ白覆輪ノ鞍置云々）乗弓取直シ進出テ（一貫云宇野七郎親治也）

○褐直衣

一貫曰褐直衣トハ恐ラクハ誤ナラン欤褐直垂ナルヲ垂ノ字ヲ衣ニカヱタルニヤ直衣ハ宇野七郎親治カ着用ニハ不可應且ヘ本文ニモ鎌倉本モ褐ノ直垂ニ作タリ推察

スヘシ又褐ノ事既ニ前ニ愚評セリ猶知タラン人ニ尋ヘシ

○褐カ目結カ遠目ニハサダカニ見ヘ分ス黒バミタル直垂ニ

一貫曰褐ノ事既ニ前ニ愚評セシカ如シ此条ト互見スヘシ又目結ハ絹ヲ染ニ糸ヲ以テ其好ニ任セテクヽリ締メテ染レハ括リタル所ハ地ノ色残リテ其餘ハ染色ニ成也古軍記古物語ニ三ッ目結四ッ目結重目結抔アル是ナリ是纈纈ノ事也革文ニモ纈纈韋アリ温古甍彙ニ見ヘタリ今俗ニ廉ノ子染ト云物

也夫木抄源仲正ノ歌ニアフ事ハシゲメユ
ヒカト思ヒシヲトラカリニコン人ハタノ
マジトアリ目結ヲヨミシ歌ナリ然ニ此所
ニ褐カ目結カト双ベテ疑ヒタル文章解シ
ガタカリシニ播磨國姫路住岡田屋吉兵衛
ト云者予カ家ニ出入セリ（カ脇差其外小道具ノ賣人也）仍
テ此者ニ餝磨（シカマ）ノカチン染ノ事ヲ尋ニ餝磨
津ト云所ムカシハ姫路トハヘダヽリシト
聞傳ヘタルニ今ハ姫路トツヽキテ外ナラ
ズ褐染モ今ハ絶テ昔ノゴトクニアラズ或

時古代ノ餝广褐染ト云物ヲ見タリシニ表ハ黒クテソコ青ク鹿ノ子白ク數百年隔タリシ物ナランニ今眼前ニテ染上タルカ如シ今時染ル所ノ物ナトニハ似モヨラス希代ノ珍物也心ヲ入テ見時ハ全ク比類ナキナリト話シタリキ。サテコソ鎌倉本ニ出シ褐カ目結カ遠目ニハサダカニ見ヘ分ス黒ハミタル直垂ニトケル文章ヲ合点セシ也サラハ古代餝磨ニテ染ル所ノカテンニハ目結モ有シ事疑フベクモ非ス彼ノ吉兵

衛カ話セシ赴ト鎌倉本ノ説ト自然ニ符合セシ事奇ナルニアラスヤ又源平盛衰記佐々木高綱宇治川ヲ渡ス篇ニ高綱ハ褐ンノ直垂ニ小櫻ヲ黄ニ返タル鎧ニト云々又義経院参篇ニ三目結ノ直垂ニ小櫻ヲ黄ニ返シタル冑ヨロイノ裾金物ノ殊ニキラメキテ見ケルハ近江國住人佐々木源三秀義カ四男四郎高綱生年二十五今度宇治川ノ先陣ト名乗ケリトアリ此高綱カ直垂ヲ案ルニ前ニ褐ト云後ニ三ッ目結ト云シハ是モ褐染ノ

目結ニテハ有サラン欠鎧ノ威ハ前後氏ニ小櫻ヲ黄ニ返シタル威ト記アリ且範頼義經京入ノ条ニ元歴元年正月廿日大手搦手宇治勢多ニ着トアリテ又栗津合戦ノ条義仲最後ノ篇ニ比ハ元歴元年正月廿日ノ事ナレバトアリ彼是ニテ考レハ義経宇治着テ高綱ガ先陣院参木曽最後皆同日ノ事也サレハ鎧モ直垂モ同シ儘ニテ京入セシ文章明カナリサレハ褐染ノ目結ナル直垂ナル事ヲ知ヘシ是モ餝广　褐ナルヘシ此外

直垂ノ野史ニ見ヘシ所或ハ其地色ヲ記シ
或其模様其織地ナトヲ書テ彼是紛雑ナル
事多シ能知タラン人ニ可尋

○小櫻ヲ黄ニ返シタル鎧

一貫曰小櫻ヲ黄ニ返シタル威ト云物温古
甍彙ニ云東鑑ニ小櫻韋威又小櫻威櫻威ナ
ト見ユ盛衰記義經記共ニ小櫻威ト云又保
元物語異本平家物語共ニ小櫻ヲ黄ニ返シタ
ルト云リ此等皆小櫻韋ヲモテ威セルモノ
ナレド其名ヲ委フ為ス菅田天神ノ社ニア

ルモノ藍白地ヲ黄ニ返シタル小櫻韋威ナリ今見シ所ノモノ四等ニ分テコヽニ載セヌト記セリ右ノ四等ト云ハ一ッニ白韋ニ藍ヲ以テ小櫻ノ文ヲ染シ韋也二ッニ藍地ノ草ニ白ク小櫻ノ文ヲ染出セリ三ッニ白地藍文ノ小櫻革ヲ黄ニ染返セシ也（是ハ地ノ色ハ黄ニナリテ文ノ色ハ萌（モヘ）黄ニナル）四ニハ藍地白文ノ小櫻韋ヲ黄ニ染返セシ也（是ハ地ノ色ハ萌黄ニナリテ櫻文ハ黄色ニナル）セレハ是等ノ革ヲ裁切テ威セシ物也既ニ温古甍彙ニモ引ケル甲州菅田天神社藏鎧ノ圖（無楯）

鎧也ト云ヲ見シニ至テ細文ノ櫻革ニテ白地藍文ヲ黄ニ返シタルモノ也凡テ筆者ニ勝劣有テ寫シ轉セルモノナレ氏此圖ニ見ヘシ所ハ黄返ノ染色至テ薄ク白キカ如シ又藝州嚴嶋社藏鎧ノ圖ヲ模写セシニ凡テ嚴嶋ニハ社藏ノ古鎧多シト也予カ模寫セシ所義家朝臣鎧義光朝臣胴丸重盛朝臣鎧無主古鎧是等也其外大内義隆ノ鎧ノ圖モ見タリキ是ハ藍地白文ノ櫻革威ナリ此櫻ノ文形ハ大キク花ト花重リシカ如ク文形シタラ也是ハ彼嚴嶋社藏無主ノ古鎧櫻文ノ革威ナル物也此鎧ノ札形近代ノ類ニ非ス其革所ニ遺タル草抔兜ノ鉢飾ノ品至テ古雅ナル事也好古ノ人一覧セハ威心ニタユヘシ彼是ニテ考ルニ小櫻威ト云

シ物ハ是ニ必セルニテハ有サラン欤前章藍白地ヲ黄ニ返シタルトアル条ト互見ヘシ是等宇野七郎親治ト云者ノ事跡ヲ記セシナレハ可考或ハ此威近代糸威トシテ清見原天皇ノ故事ナトヲ附會シテ傳授トセル者多シ無稽無證ノ妄説抱腹ノ至リ也委ハ予カ威毛考ニ辨ス猶知タラン人ニ可尋

○黒羽ノ征矢

一貫曰黒羽ノ事既ニ前ニ愚評シタリ又此征矢ト云シ物ハ尤右ク見ユ軍防令○人弓

一張弓弦袋一口副弦二條征箭五十隻胡籙一具又倭名抄日唐式語府衛士人別弓一張征箭卅隻（征箭和名曽夜）ト見ヘタリ其外古書ニモ出ル（續日本紀延喜式）又是ヲ作ラン事軍記物語等ヲ見ニサラニ一定ノ事ハナカリシナラン歟或ハ箆モ白箆。塗箆。節陰ナト羽モ鵰。鷲鷹ヲハジメイカく矯タリ勝テ計フルニ遑アラズ但シ今當禮家者流射家者流ニテハ其制甚ムツカシク式正ノ征矢ナトヽ云物アリテ傳授トセリ古代ニハ見ヘサリシ事ナ

ラン歟乍去小笠原大双紙ニ羽ノ名所矧ノ寸法拭箆節陰白箆ニテ塗色ノ差別ナト見ヘタレハ其作法アル事モ又新シキニモ非ス又予カ師傳ノ赴或ハ請説モ有ケレ氏爰ニ洩シヌ能知ラン人ニ尋ヘシ猶征矢ノ事下ニ出ス並ヘ見ヘシ

○節巻ノ弓ノ拳太

一貫曰此節巻ノ弓ト云物ハ今當用ル所ノ木竹合セタル弓ノ節ヲ籐ヲ以テ巻シ物ニテハ有サンン欤（此外軍記物語抔ニモ節巻弓所見アリ）又是ヲ

巻事後世ニモ定制ナカリシニヤ天文十三
年十二月三日岡本美濃守録侍ノ著セシ岡
本記ト題スル書ニフシ巻ノ弓ハマヱフシ
トブシトモニマクヘシ前フシ計人ノマク
事ハワロシト記セリ又此節巻ニスル弓ハ
昔ハ伏竹ノ弓ト云シ也夫木抄信實朝臣ノ
歌ニアツサ弓スヱマテトヲスフセ竹ノハ
ナレガタクモチキル中カナト詠ル是ナリ
古代ニ木竹合セザル弓アリシ故ニ木竹合
セシ弓ヲ伏竹ノ弓ト云可成伊勢氏説ニ上

代ハ木竹合スル事ナク木バカリニ制セシ
也梓弓檀弓槻木栃弓ナドヽ云シハ則丸木
弓ナリトテ委細ニ記サレシ也又軍器考圖
式ニ出シ大和國大安寺八幡宮藏神功皇后
ノ弓同浚隆寺藏上宮太子弓山城國静原二
宮山王藏天武天皇ノ弓此物ナルヨシナリ
又南都東大寺八幡宮社藏ノ弓ナル物即九
木弓ノ制也又義經記ニマル木ノユミ六條堀河
屋形ニ残ス所也フシ木ノ弓忠信所持アリサレハ昔シ
是等ノ品々有テマジヱ用シモノナラン歟